

吸引装置取扱説明書



この度はプラモール製の吸引装置を利用頂き誠に有難う御座います。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- ご使用期間中は、この取扱説明書をいつでも見ることができるようお近くに保管してください。装置返却の際に説明書の返却もお願いします。
- この商品は海外ではご使用になれません。

FOR USE IN JAPAN ONLY

製品に関する問い合わせはプラモール精工 営業課まで **022-348-1250**

PM 株式会社 **プラモール精工**
PLAMOUL 会社

<http://www.plamol-seiko.co.jp>

〒981-3351 宮城県富谷市鷹乃杜4丁目3-5

TEL : 022-348-1250

FAX : 022-348-1244

E-mail : eigyou@plamol-seiko.co.jp

使用上の注意

本装置は、小型成形機での使用を想定しております。
吸引量が多い場合は想定よりも吸引出来ない場合も御座います。
吸引能力が足りない場合は、もう一台吸引装置を接続し吸引を行ってください。2台接続時は、金型から2方向に吸引口を用意し各々の吸引装置に接続を行ってください。

安全上の注意



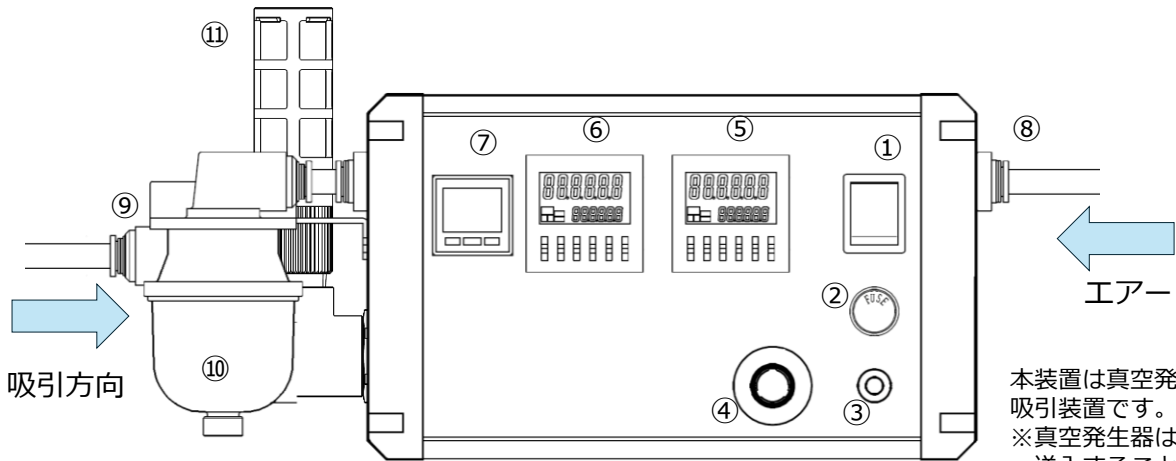
注意を促す記号



禁止を示す記号

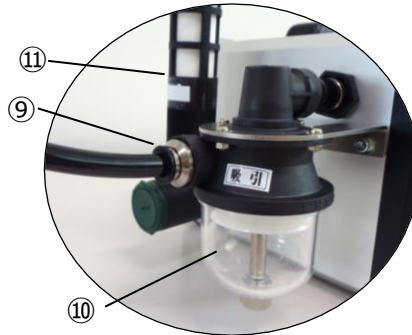
	<ul style="list-style-type: none">・本体に強い衝撃を与えない・水平で安定した所で使用する・高温になるところの上に置かない
	<ul style="list-style-type: none">・分解、修理、改造をしない
	<ul style="list-style-type: none">・屋外では使用しない
	<ul style="list-style-type: none">・交流100V以外では使用しない・ACアダプターコードを束ねたまま使用したり、傷つけたりしない
	<ul style="list-style-type: none">・濡れた手でACアダプターの抜き差しをしない
	<ul style="list-style-type: none">・本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
	<ul style="list-style-type: none">・火災の原因になるので、ほこり・粉じんの多い場所では使用しない
	<ul style="list-style-type: none">・吸引(ガス、空気)目的以外で使用はしない・水、化学薬品、引火性ガスなどでは使用しない

各部の名称



本装置は真空発生器搭載の吸引装置です。
※真空発生器は圧縮空気を送入することにより真空を発生する装置です

- ① 電源
- ② ヒューズ
- ③ 電源ケーブル (AC100V)
- ④ センサー用アダプター
- ⑤ 操作パネル (吸引時間)
- ⑥ 操作パネル (吸引待機時間)
- ⑦ 表示パネル (吸引圧力)
- ⑧ 継手：外径φ10 (エアー用)
- ⑨ 継手：外径φ10 (吸引用)
- ⑩ 吸引用フィルタ
- ⑪ サイレンサ
- ⑫ 信号線3m
- ⑬ スイッチ線5m



⑫ 信号線3m



⑬ スイッチ線5m

【サイズ】 縦 : 約185mm (サイレンサ込)
横 : 約370mm (吸引フィルタ込)
奥行 : 約215mm (電源ケーブルは除く)

【仕様】

仕様 (真空発生器・エジェクタ)	
使用流体	空気
使用圧力範囲	0.3~0.7MPa
定格供給圧力	0.5MPa
使用温度範囲	5~50℃
ノズル径	φ1.6mm

使い方

1. ホースの接続

吸引装置側差込口は吸引、エアー共にΦ10となります。

※ホース経Φ12をご使用の場合は、付属の異形継手をご使用ください。

Φ10、12以外をご使用の場合は、お手数ですがお客様でご用意ください。



吸引側ホースと金型を接続



エア側ホースと工場エアを接続



※ホース着脱の際は、必ずエアを止めて残圧を排気してから行ってください

2. スイッチ線の接続

信号線かスイッチ線のどちらかご使用になる方を本体正面のセンサー差込口へ接続

※接続する線については次項をご覧ください



3. サイレンサ取付け

上面緑色のキャップを外しサイレンサ取付け



※サイレンサを強く締めすぎると破損する恐れがありますので取り外しには注意願います。また、外したキャップの紛失にご注意ください。

4. 電源プラグ (AC100V) 接続

火災の原因になりますので、電源コードは束ねたまま使用しないでください



※必ずケーブルタイ(ビニールタイ)から外して接続してください

5. 電源オン

電源がオンになると緑色に光ります



6. 操作パネル設定

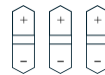
・吸引待機時間

信号を受けてから何秒後に吸引を開始するかの設定 (単位 秒)

・吸引時間

信号を受けてから吸引する時間を設定 (単位 秒)

※設定は0~99999.9まで可能 パネル下ボタンで操作





本書に記載の無い操作は故障の原因となりますので行わないようにお願いします

7. 吸引圧カパネル



設定は不要です

画面のP_1 -50.5が表示されている事を確認し使用してください

画面が違う場合は   ボタンで画面が下記の順に切り替わりますので変更してください

P_1 -50.5  H_1 5.1  P_2 -50.5  H_2 5.0  H_Lo 0.6  H_Hi -87.8

※1

※1 右側の数値は参考値となり、実物とは異なる場合がございます。

●設定にはロックを掛けておりますのでその他の設定は不可となります

本書に記載の無い操作は故障の原因となりますので行わないようにお願いします

信号線をご使用の場合

本体側センサーアダプターに信号線を接続してご使用ください。



信号線



端子線

信号線ご使用の場合は、**直接成形機の制御盤へ接続**してください

**※制御盤の位置は成形機メーカーによって異なります。
不明な場合はメーカーへ問合せをお願いします。**

参考

装置本体の操作パネル設定

例1) 金型が閉じたタイミングで吸引を開始し、6秒間吸引後停止させる

操作パネルの設定 (吸引待機時間) : 0.0秒 (設定なし)

操作パネルの設定 (吸引時間) : 6.0秒

例2) スイッチ接触後、10秒間待機し7.5秒間吸引させ、その後に停止させる

操作パネルの設定 (吸引待機時間) : 10.0秒

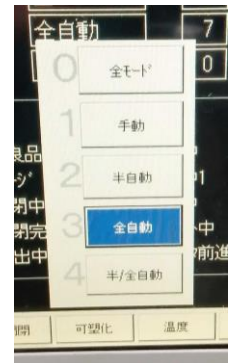
操作パネルの設定 (吸引時間) : 7.5秒

設定例

金型が閉じたタイミングで吸引開始し、その後6秒間吸引後に吸引を停止させる

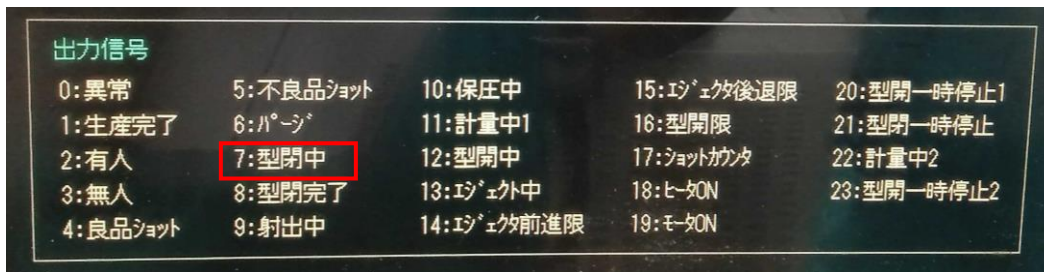
1. 成形機側設定

成形機側操作パネル（成形機：住友重機械工業）



※③モード選択画面

- ①CH : 配線を繋いだ端子台のCHを選択（今回はDを使用）
- ②ON/OFF : ON/OFFの選択で“入”にする
- ③モード : モード選択（モード選択画面参照）※モードは任意にて
- ④出力信号 : 出力信号選択（出力信号一覧から選択）
今回は型閉のタイミングで吸引開始の為 7 を選択



※④出力信号一覧

2. 吸引装置側設定

吸引機側操作パネル

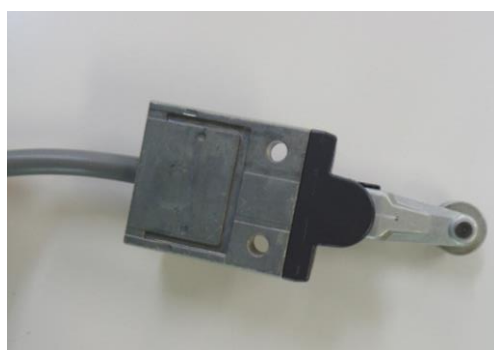


吸引時間設定パネルで吸引時間の設定
（0.1秒単位での設定可能）
今回は6秒間吸引を行うため、
+/-のボタンで「6.0」秒に設定

左 十の位
中 一の位
右 コンマ台 単位 秒

スイッチ線をご使用の場合

本体側センサーアダプターにスイッチ線を接続してご使用ください。



スイッチ部

※スイッチが倒れると
信号が流れます

スイッチ線をご使用の場合は、マグネットスタンド等で固定し金型へ取付けをお願いします。

マグネットスタンドを使用しての取付け例



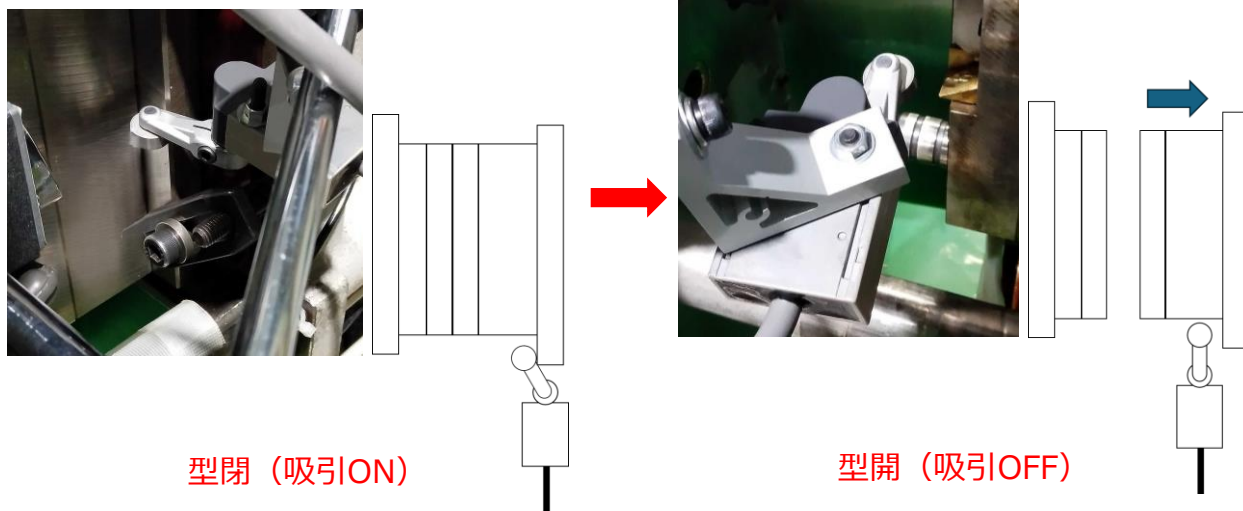
センサー先端部をボルトで固定

マグネットスタンド

設定例

金型が閉じたタイミングで吸引開始し、その後6秒間吸引後に吸引を停止させる

1. 金型側設定



金型が閉じるタイミングで吸引開始の為、スイッチの位置を調整し取付け
※スイッチ線の場合は制御盤への接続、パネル操作は必要ありません

2. 吸引装置側設定

吸引機側操作パネル



吸引時間設定パネルで吸引時間の設定
(0.1秒単位での設定可能)
今回は6秒間吸引を行うため、
+/-のボタンで「6.0」秒に設定

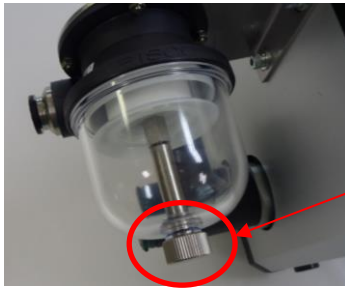
左 十の位
中 一の位
右 コンマ台 単位 秒

フィルターメンテナンス方法

使用をしていると徐々にフィルター内に「ヤニ」や「樹脂カス」が付着します。定期的にメンテナンス(掃除)をしてください。

お手入れ方法

- 1 カバー上部のボルトの取り外し



- 2 カバーの取り外し



※カバー内のOリングの紛失に注意

- 3 カバー内部をウエス等で拭き掃除



- 4 フィルターの取り外し



before



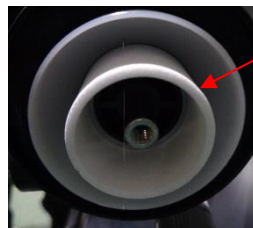
after

- 5 六角形状ボルト、カバー(白)の取り外し



※レンチやスパナを使用すると容易に外せます

- 6 フィルターの取り外し



フィルター本体

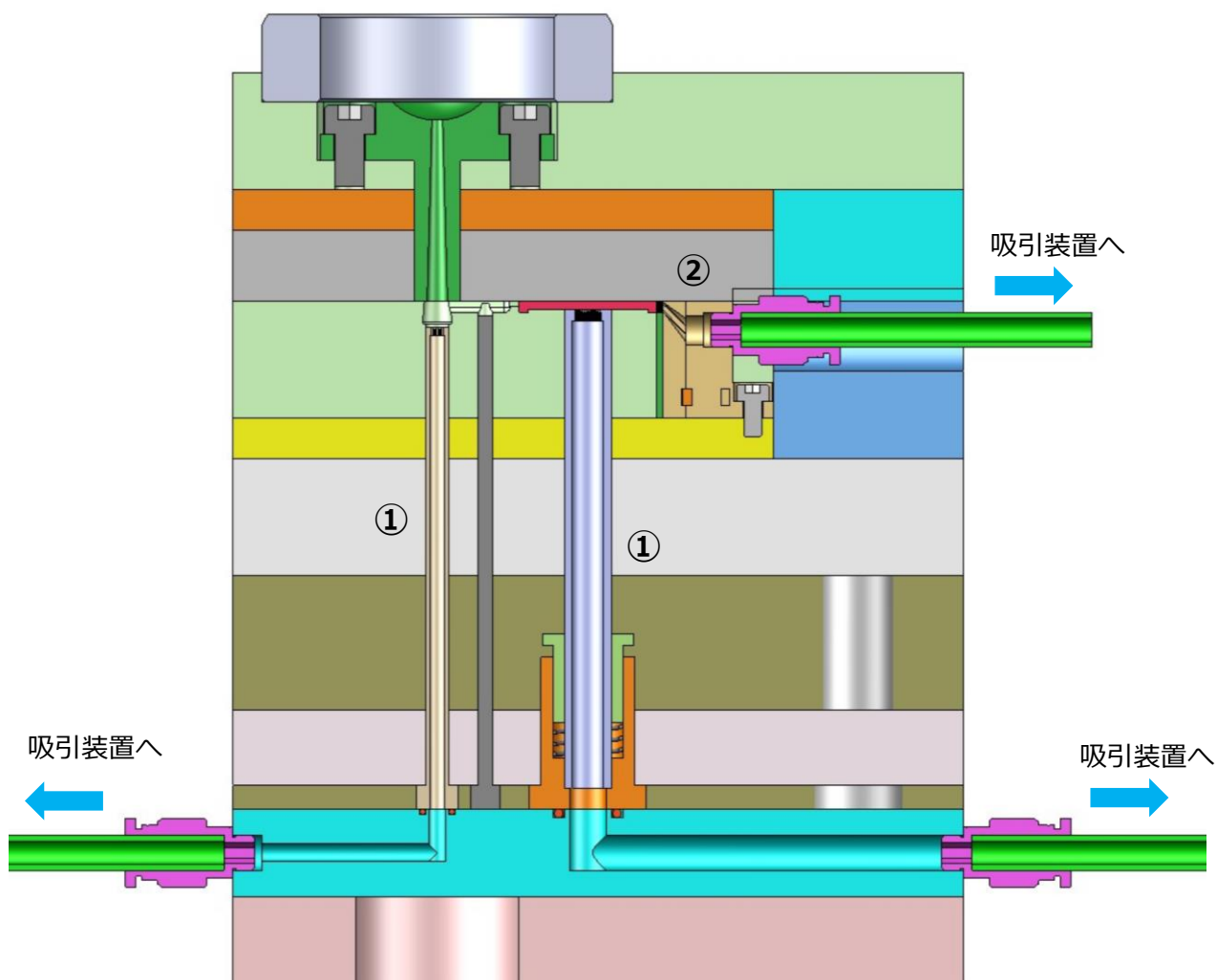
- 7 フィルター清掃



フィルターをエアブローし、汚れを落とす

※清掃後は逆の順番で取付けを行う

接続イメージ



- ① エジェクタピンタイプのガストースやスーパーガストースのスリット部と中空穴を利用し、吸引を行う方法。
- ② ランナーエンドタイプや製品部側面、底面タイプのガストースやスーパーガストースのスリット部を利用し吸引を行う方法。



故障かな？と思ったら

状態	考えられる原因	処置
運転しない	●電源プラグにコンセントが正しく差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください
吸引されない	●ホースが上手く繋がっていない	●ホースとワンタッチ継手の接続を確認してください
	●吸引部品との間に隙間がある	●吸引部品、箇所からの接続を確認してください
タイマーが正常に作動しない	●操作パネルの設定が合っていない	●操作パネルの設定後、スイッチ線で動作を確認してください